

2025年度 新入社員の会社生活調査 ～生成A I 活用意識編～

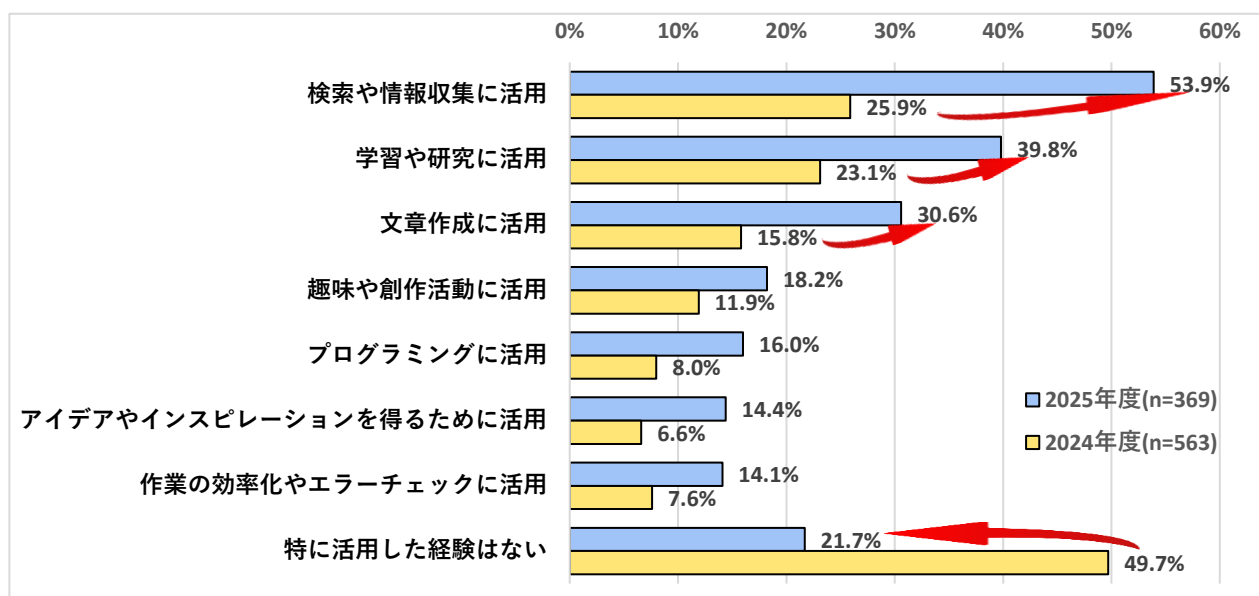
PICKUP DATA

・生成A I を活用した経験がありますか？

「検索や情報収集に活用」・・・53.9%（昨年度比28.0ポイント増）

「学習や研究に活用」・・・・・・39.8%（昨年度比16.7ポイント増）

「特に活用した経験はない」・・・21.7%（昨年度比28.0ポイント減）



本年度の新入社員を対象に、生成A I を活用した経験があるか（P. 8／問2・複数回答）を尋ねた結果、最も多かったのは「検索や情報収集に活用」が53.9%（昨年度比28.0ポイント増）、次いで「学習や研究に活用」39.8%（同16.7ポイント増）、「文章作成に活用」が30.6%（同14.8ポイント増）となりました。

また、選択肢に設定した8項目のうち、「特に活用した経験はない」を除く全ての選択肢で、昨年度から大幅に割合が増加しています。

昨年度は「特に活用した経験はない」との回答が49.7%でしたが、本年度は21.7%に減少し、入社時点で何らかのかたちで生成A I を活用した経験のある新入社員の割合は1年で50.3%から78.3%へと大きく増加しました。入社時点で生成A I の活用経験を持つ人が、1年間で大幅に増えたことが分かります。

目 次

- 調 査 概 要 P. 1
- 総 括 P. 2
- 調査内容解説 P. 3 ～ P. 5
- デ ー タ 集 P. 6 ～ P. 10

学校法人産業能率大学 総合研究所（所在地：東京都世田谷区）は、本年度の新入社員に対し、生成ＡＩに対する意識についてのアンケートを実施し「２０２５年度 新入社員の会社生活調査（生成ＡＩ活用意識編）」としてまとめました。

調査は２０２５年３月２６日から４月１０日までに、２０２５年に就職した新入社員を対象に実施し、３６９人から回答を得ています。

※本資料は、２０２５年７月に発表した「２０２５年度（第３６回）新入社員の会社生活調査」のうち、生成ＡＩに関する設問を抽出・分析した特別編です。

調査概要

- １． 調査対象 ２０２５年度入社の新入社員
- ２． 調査時期 ２０２５年３月２６日～４月１０日
- ３． 調査方法 オンラインによる回答肢選択方式
- ４． 有効回答 ３６９人
(男性２７３人・７４.０％／女性９４人・２５.５％／答えたくない２人・０.５％)
- ５． 所属企業プロフィール

(従業員数)	１００人未満	２０人	(５.４％)
	１００人以上 ５００人未満	１０１人	(２７.４％)
	５００人以上 １,０００人未満	５０人	(１３.６％)
	１,０００人以上	１９８人	(５３.７％)
		３６９人	
(上場区分)	上場企業	２４７人	(６６.９％)
	非上場企業	１１０人	(２９.８％)
	企業以外の法人・団体	１２人	(３.３％)
		３６９人	
(企業所在地)	北海道	２人	(０.５％)
	東 北	１３０人	(３５.２％)
	関 東	２０５人	(５５.６％)
	中 部	１１人	(３.０％)
	近 畿	６人	(１.６％)
	中 国	１３人	(３.５％)
	四 国	０人	(０.０％)
	九 州・沖縄	１人	(０.３％)
	その他	１人	(０.３％)
		３６９人	

総 括

本年度の新入社員は、生成A Iの活用が急速に広まる中で学生生活を送ってきたZ世代です。最近では、生成A Iを業務の中で活用する企業も増えており、仕事の進め方そのものが大きく変わりとつあります。

こうした背景をふまえ、私たちは新入社員がこれまで生成A Iをどのように使ってきたのか、そして今後どのように活用していきたいと考えているのかを調査し、「2025年度 新入社員の会社生活調査（生成A I活用意識編）」としてまとめました。

ChatGPTやClaude、DeepSeekなどの生成A Iについて、どの程度知っているかを尋ねた設問では、「基本的なことは知っている」が64.5%（昨年度比13.3ポイント増）、「詳しく知っている」が13.8%（同4.2ポイント増）となり、これらを合わせると78.3%（同17.5ポイント増）が“知っている”と回答しました（問1）。

また、実際に生成A Iを活用した経験は、「検索や情報収集に活用」が53.9%（昨年度比28.0ポイント増）、さらに「学習や研究に活用」したのも39.8%（同16.7ポイント増）となりました。

この設問において設定した各選択肢における活用経験の割合はいずれも大きく増加しており、この1年間で生成A Iの活用が急速に広がっていることがうかがえます（問2）。

また、就職活動でも生成A Iが活用されており、「エントリーシートや履歴書の作成支援に活用」した割合は、昨年度の8.9%から22.0%へと大幅に増加しました（問3）。

さらに、仕事における生成A Iの活用意向は、「必要に応じて活用を検討する」が29.5%（昨年度比11.0ポイント減）、「業務のサポートとして活用したい」が42.0%（同11.4ポイント増）、「積極的に活用し効率化や新しい価値を生み出したい」が20.9%（同5.3ポイント増）となりました。これら3つの選択肢を合計すると、92.4%（同5.7ポイント増）が仕事でも生成A Iの活用を前向きに考えていることが分かります（問4）。

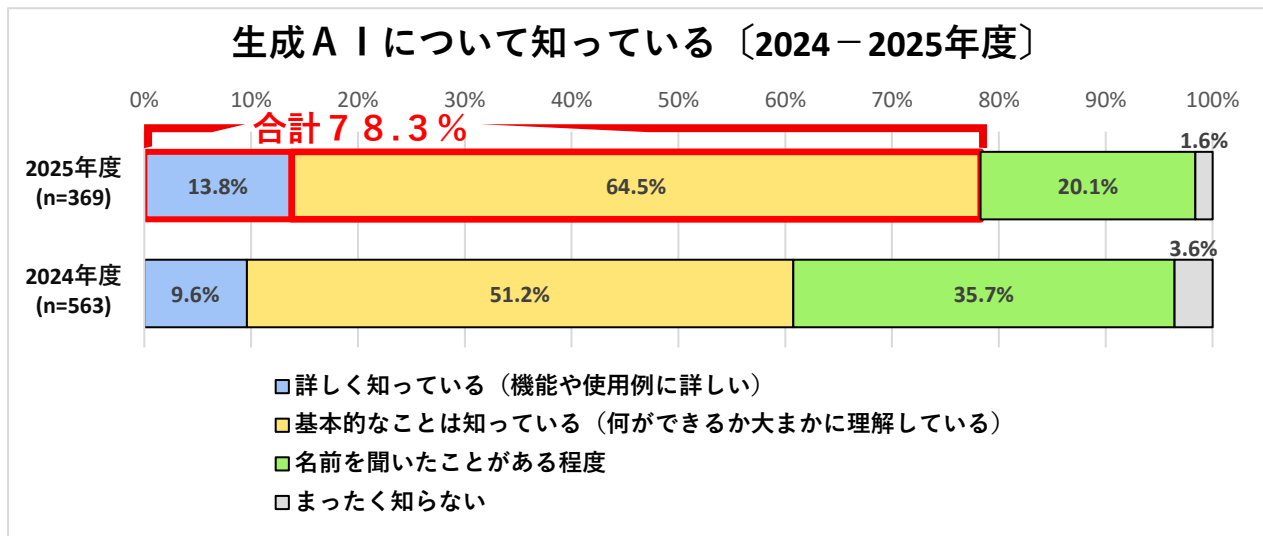


調査内容解説

★生成A I（例：ChatGPT、Claude、DeepSeek など）について知っている？

「基本的なことは知っている」 64.5%

「詳しく知っている」 13.8%



ChatGPTをはじめとする生成A I について、どの程度知っているか（P. 7／問1・単数回答）を尋ねました。

「詳しく知っている（機能や使用例に詳しい）」と回答した新入社員は昨年度比4.2ポイント増の13.8%、「基本的なことは知っている（何ができるか大まかに理解している）」は同13.3ポイント増の64.5%でした。

この2つの選択肢を合わせると、78.3%が生成A I について一定程度の知識や理解があることが分かります。

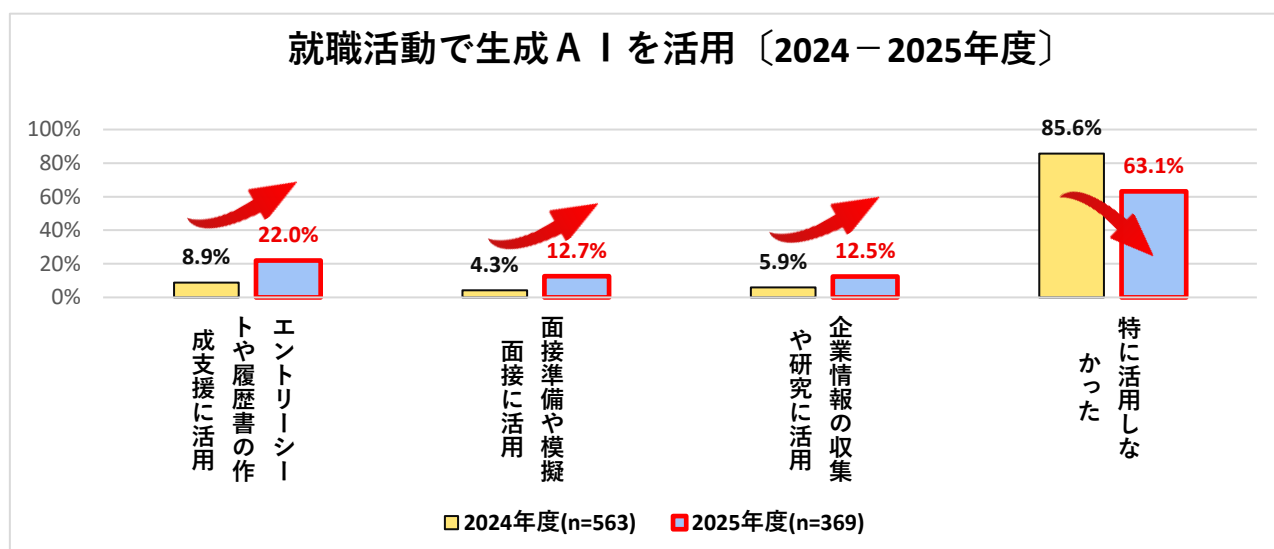
一方で、「名前は聞いたことがある程度」は同15.6ポイント減の20.1%、「まったく知らない」は昨年度の3.6%から1.6%へと半減しました。

これらの結果から、生成A I に対する認知度が、昨年度よりもさらに広がっていることが分かります。

★就職活動において生成A Iを活用したか？

「エントリーシートや履歴書作成に活用」 22.0%

「面接の準備に活用」 12.7%



生成A Iの認知度が新入社員の間でも高まっている中、就職活動において活用したか（P. 9／問3・複数回答）を尋ねたところ、「エントリーシートや履歴書の作成支援に活用」と回答した割合は22.0%で、昨年度の8.9%から13.1ポイント増加しました。

続いて「面接準備や模擬面接に活用」が12.7%（昨年度比8.4ポイント増）、さらに「企業情報の収集や研究に活用」が12.5%（同6.6ポイント増）となっており、いずれの項目も昨年度を大きく上回っています。

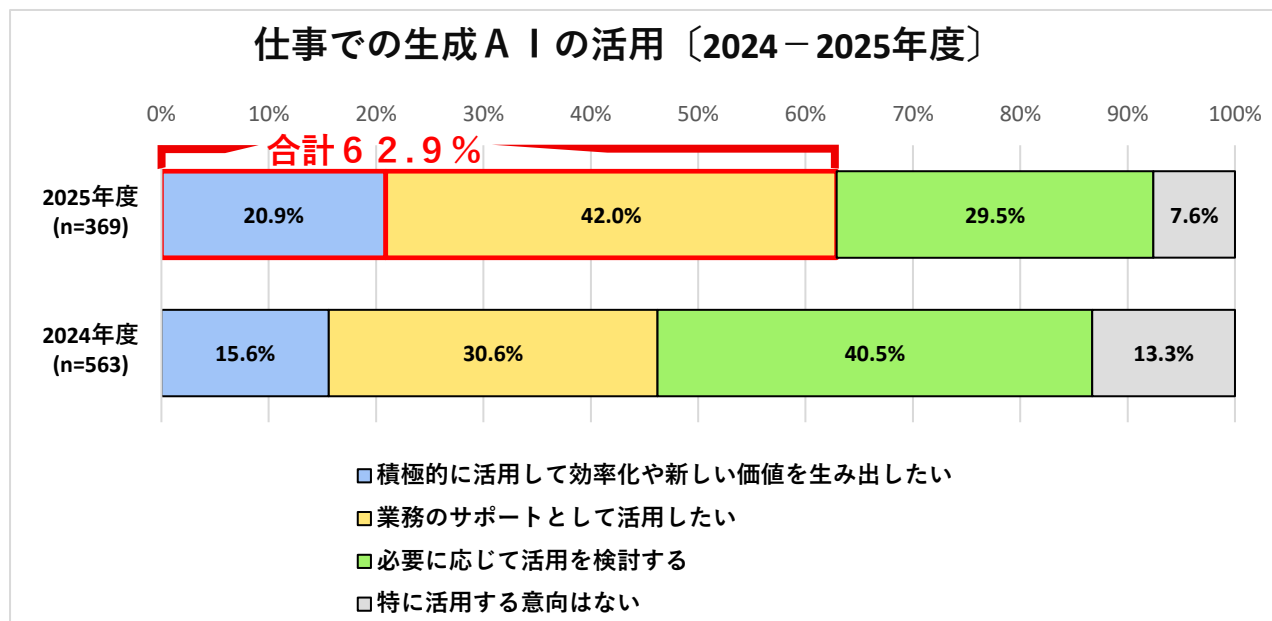
一方、「特に活用しなかった」との回答は63.1%で、昨年度の85.6%から22.5ポイント減少しているものの、約6割は就職活動には生成A Iを利用していないという結果でした。

これらの結果から、就職活動における生成A Iの活用は広まりつつありますが、就職活動での活用に対してはなお一定のハードルが残っていることもうかがえます。

★仕事において、生成A I をどのように活用したいか？

「業務のサポートとして活用」 42.0%

「必要に応じて活用を検討」 29.5%



今後の仕事において、生成A I をどのように活用したいか（P. 10／問4・単数回答）を尋ねました。

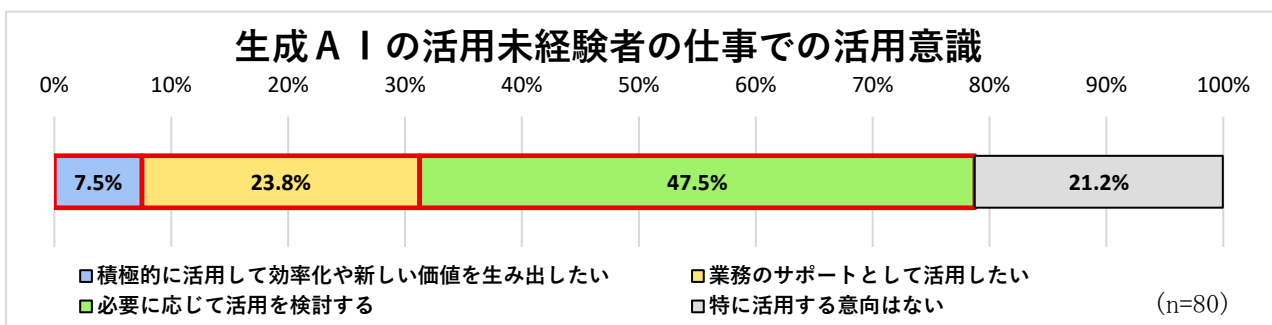
「業務のサポートとして活用したい」と回答した実務派が42.0%で最も多く、昨年度の30.6%から11.4ポイント増加しました。一方、昨年度最も多かった「必要に応じて活用を検討する」という臨機応変派は40.5%から29.5%へと11.0ポイント減少しています。

また、「積極的に活用して効率化や新しい価値を生み出したい」とする積極派も20.9%となり、昨年度から5.3ポイント増加しました。これら実務派と積極派を合わせると、62.9%（昨年度比16.7ポイント増）となり、生成A I を積極的かつ実務的に業務で活用したいと考える新入社員が増えていることが分かります。

さらに、3つの選択肢（実務派・臨機応変派・積極派）を合わせると、9割以上の新入社員が生成A I を業務で活用する意向を示しています。

★「生成A I の活用未経験者」の仕事での活用意識は？

“活用したい意向” 計78.8%



また、前出の「生成A I を活用した経験があるか」（P. 8／問2・複数回答）を尋ねた結果で、「特に活用した経験がない」と回答した21.7%の新入社員に対し、仕事での活用意向をクロス集計した結果、78.8%が活用したいとする選択肢を選びました。これまで生成A I を活用したことがなくても、今後の仕事では、必要に応じて活用したいという意向があることが分かりました。

Z世代にあたる本年度の新入社員にとって、生成A I はますます身近な存在となりつつあり、生成A I を業務に役立つツールとして前向きに捉えていることがうかがえます。

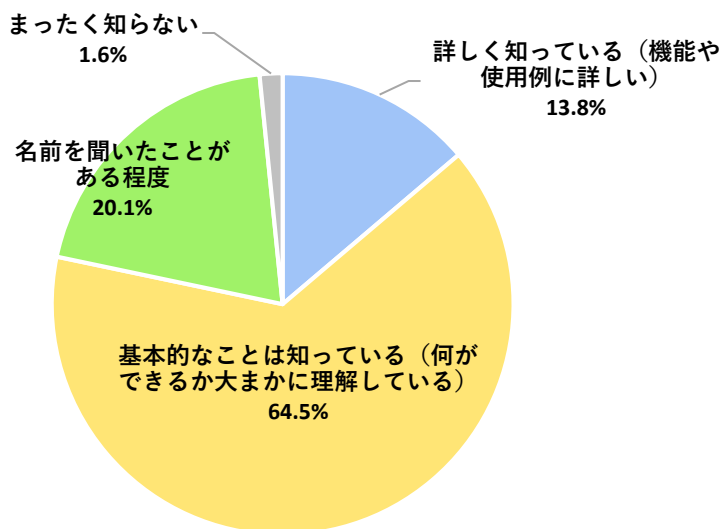
2025年度 新入社員の会社生活調査 (生成A I 活用意識編) データ集

※「データ集」における経年比較は、
その質問を開始した年度以降のデータを可能な限り記載しています。

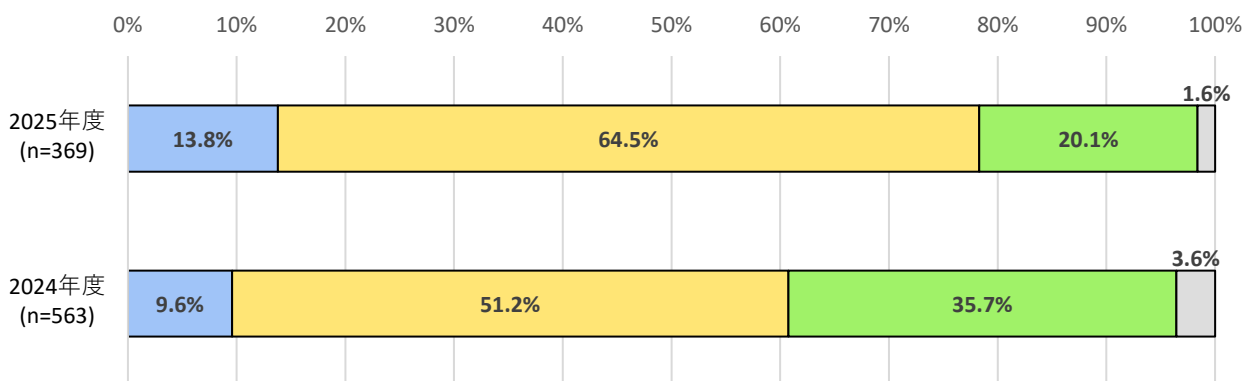


問1. 生成A I（例：ChatGPT、Claude、DeepSeek、Grokなど）についてどの程度知っていますか？（1つ選択）

(n=369)



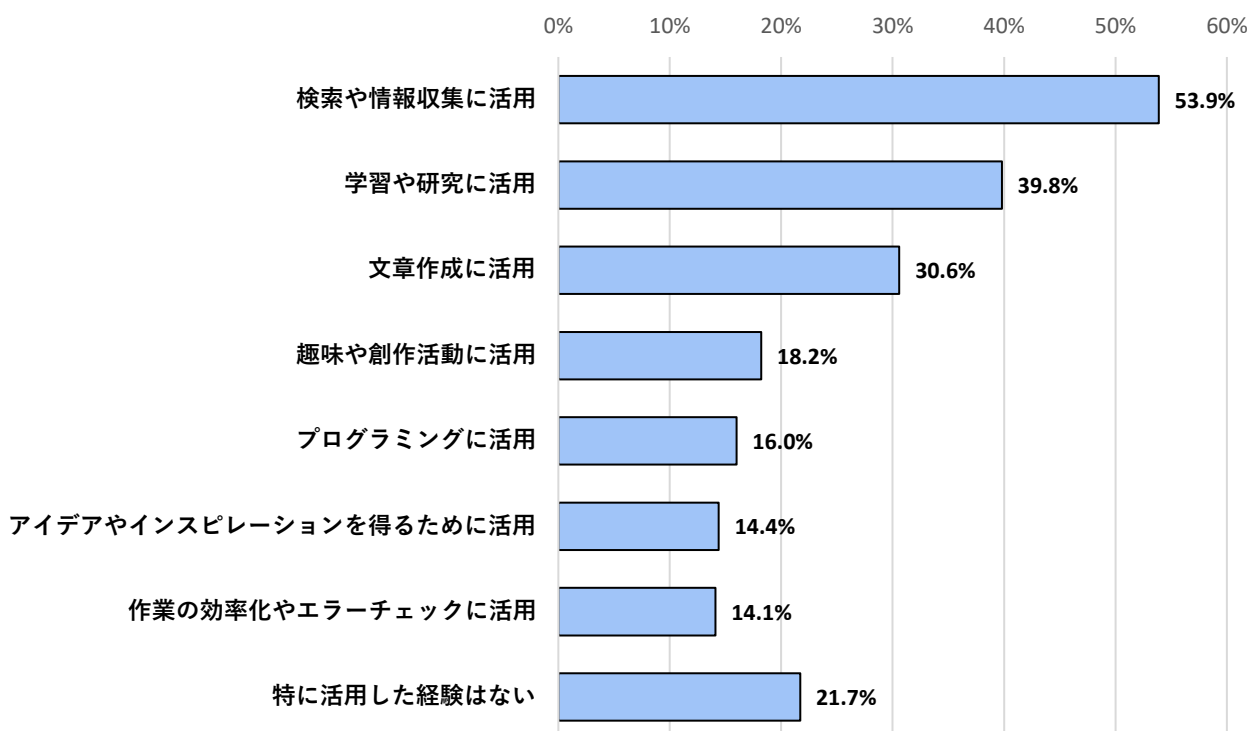
経年比較：2024－2025年度



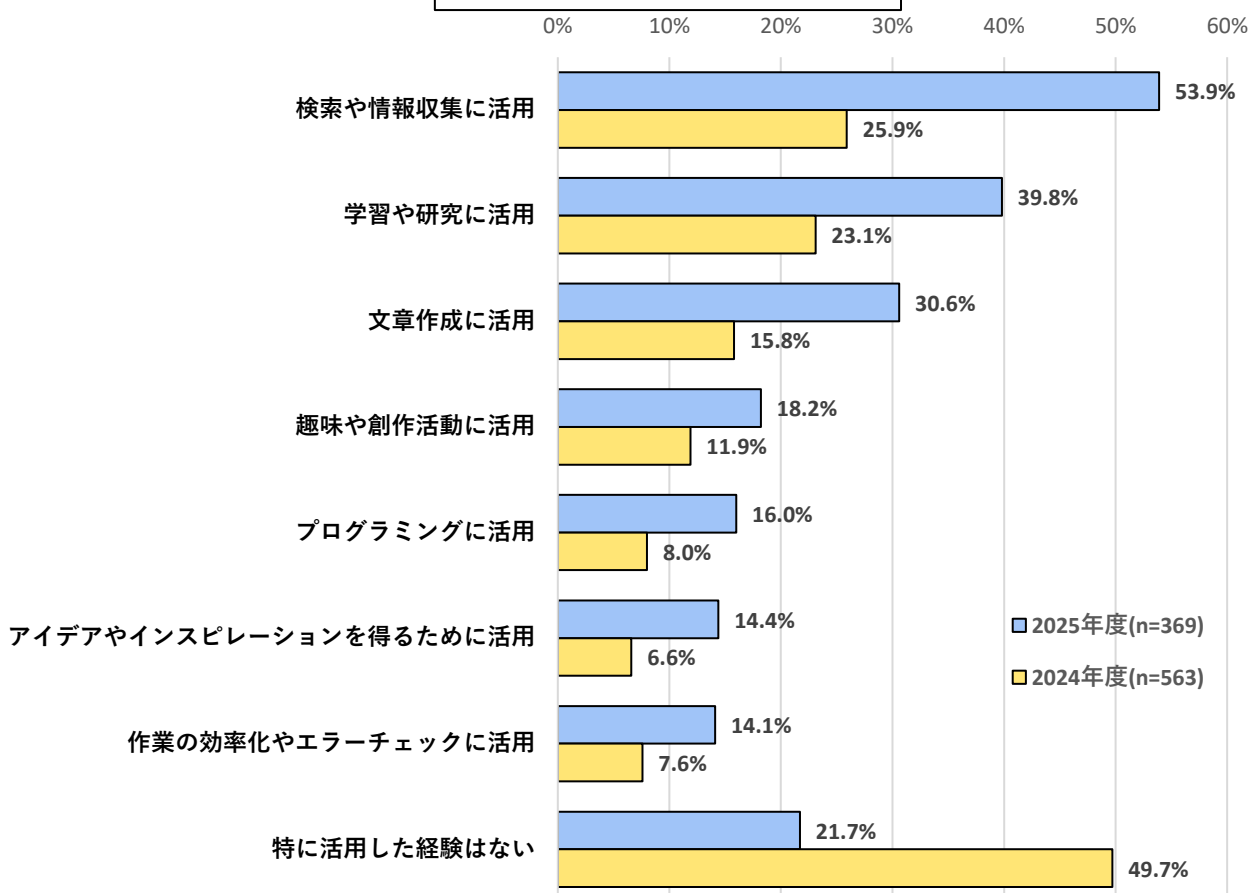
- 詳しく知っている（機能や使用例に詳しい）
- 基本的なことは知っている（何ができるか大まかに理解している）
- 名前を聞いたことがある程度
- まったく知らない

問2. 生成AIを活用した経験がありますか？（複数回答可）

(n=369)

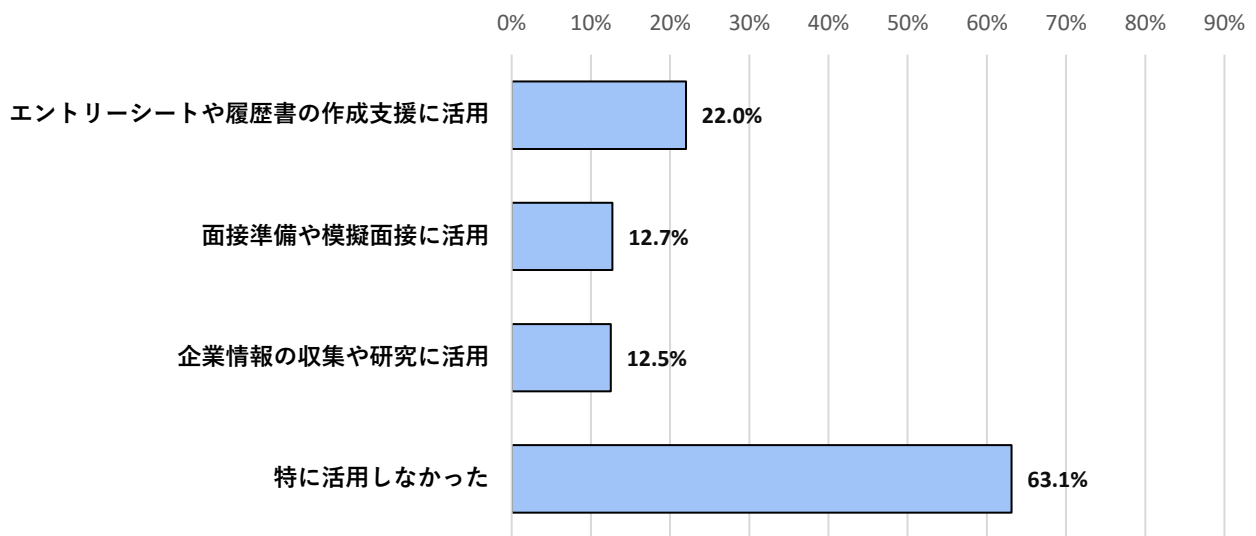


経年比較：2024－2025年度

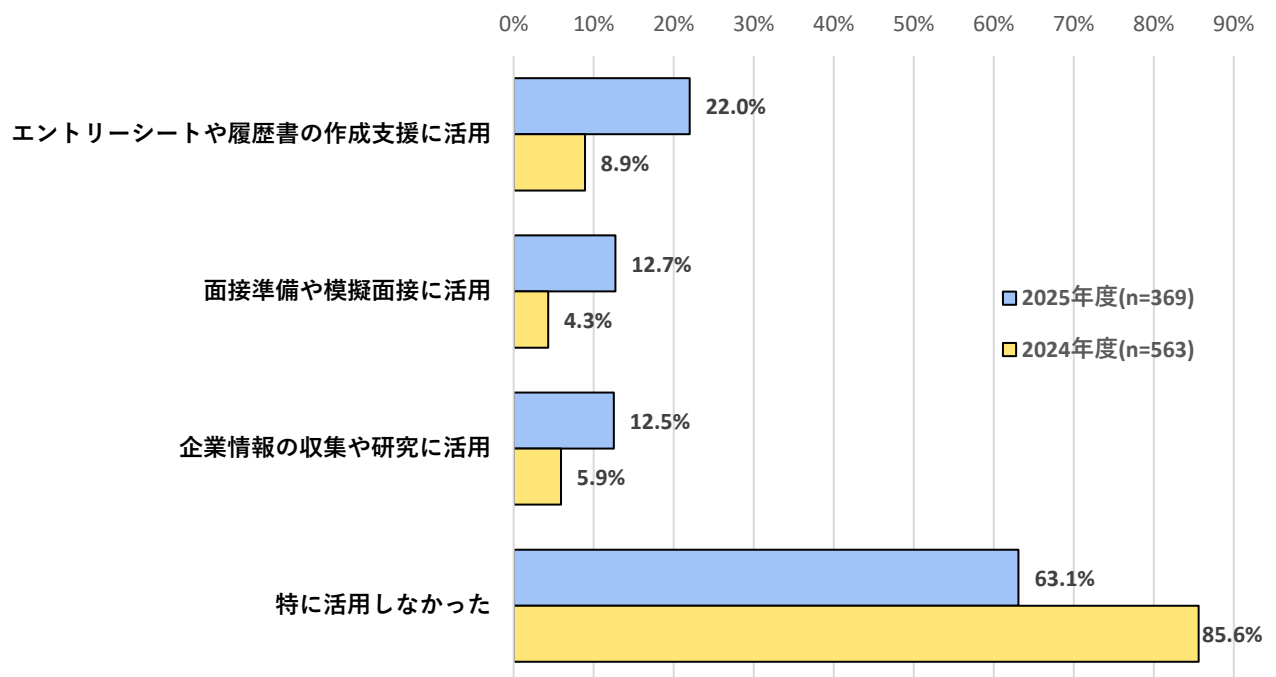


問3. 就職活動において、生成AIを活用しましたか？（複数回答可）

(n=369)

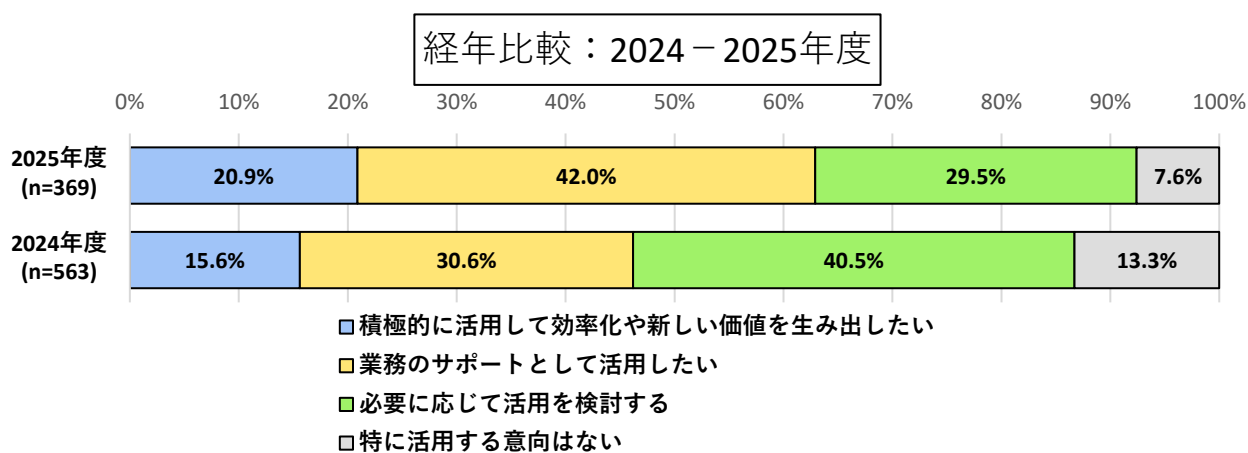
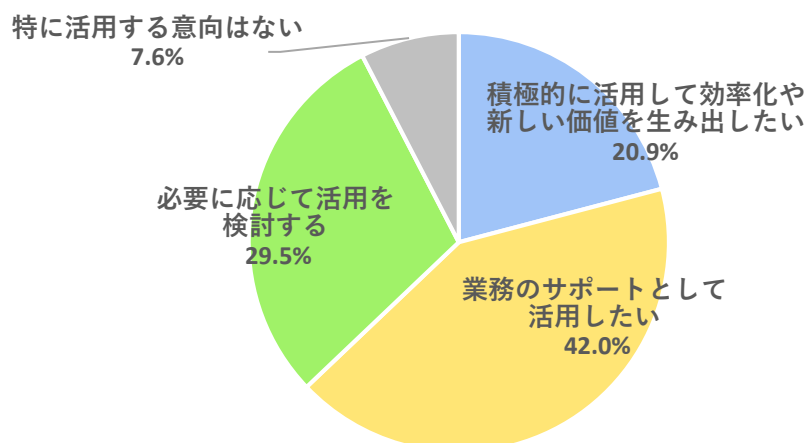


経年比較：2024－2025年度



問4. 仕事において、生成AIをどのように活用したいですか？（1つ選択）

(n=369)



2025年度
新入社員の会社生活調査（生成AI活用意識編）

2025年8月

学校法人産業能率大学
〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15
TEL：03-5758-5117
（総合研究所 マーケティングセンター）
